令和の日本型学校教育の推進に向けて ~市内校の実践~







『子ども主体の学び』

『探究的な学び』





枚方信用金庫から探究で活用する 図書の寄付をいた だきました。



⑥総合的な学習の時間では、 自分で課題を立てて情報を集め整理して、

調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる





※令和7年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査 より

門真市初の『アウトプットデイ』開催!



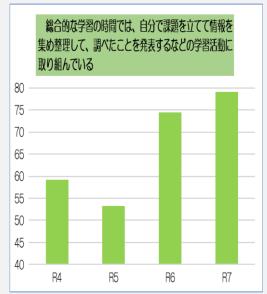


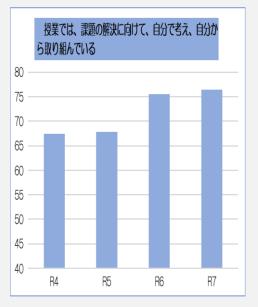
【子どもたちの声】

- たくさんの人からフィードバックをもらえてうれしかったです。
- 緊張したけど、自分が一生懸命に調べたことを聞いてもらえるのがうれしかったです。
- 次はもっとうまく伝えられるように工夫をしたいです。

【保護者の声】

- このような生きた取組がもっと広まってほしい。
- 社会に出たときに必要なことを学んでいると感じました。
- 私の子どもは卒業してしまったが、このような取組を経験させたかったです。





※令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問調査の結果より

本市の学力状況 ~令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(見える学力)~

令和7年度 全国学力•学習状況調査

門真市の結果概要

令和7年 4月17日実施

100

85

100

95

── 王里 末年

数学

理科

90---- 英語

調査の概要

(1)調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国 的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成 果と課題を検証し、その改善を図る。学校における児童生徒へ の学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。そのような 取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立 する。

(2)調査の対象学年

小学校第6学年(門真市:13校) 724人 中学校第3学年(門真市:6校) 770人

(3) 調査内容

①教科に関する調査(小6:国語、算数、理科)

(中3:国語、数学、※理科)

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及 ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できる ようになっていることが望ましい知識・技能 等
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な 課題解決のための構想を立て実践し評価・改善するカ 等
- 調査問題では上記の2点を一体的に問うこととする
- 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する ※中学校理科については、1人1台端末を用いた文部科学省 CBTシステムによるオンライン方式による調査

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する 調査

※ 今回お知らせする調査結果につきましては、学力や学習の一 部分であり、子どもたち の学力や学習状況、学校の教育活動な どの全てを表すものではありません。

校種・教科・観点・区分別平均正含数			
小学校	令和7年度		
	門真市	大阪府	全国
国語 (全14問)	8.4	9.2	9.4
算数 (全16間)	7.8	9.2	9.3
理科 (全17問)	7.7	9.3	9.7
中学校	令和7年度		
	門真市	大阪府	全国
国語 (全14問)	6.5	7.3	7.6
数学 (全15問)	5.6	7.0	7.2
中学校	令和7年度		
	門真市	大阪府	全国
理科	447	487	503

教科、知片、区公则页均正效*

小学校 全国 97,3 96,9 96.5 95.8 950 95.4 93.6 98.3 933 93.5 94.2 966 96.2 909 94.7 92.7 90.9 92.7 92.5 90.5 H29 H30 R1 R3 R5 R6 中学校 全国 97.1 96.2 97.8 97.6 95.7 93.8 945 93.2 933 97.2 96.3 96.3 94.1 __{93.3} 93.6 92.8 96.5 91.9 92.0 927 H29 H30 R3 **R5** R6

標準化得点※1)を活用した対全国比経年比較

標準化得点とは、全国平均との関係について年度間の相対的な比較ができるよう、計算されたものです。平成28年から平成30年まで の国語・算数の調査結果は、A・B区分の平均値で表しています。

※2 今年度の中学校理科は、CBTシステムでの実施のため、生徒一人ひとりが異なった問題に取り組む場合があり、平均正答数の記載はでき ません。そのため、IRT(項目反応理論)に基づき算出された平均スコアを参考資料として記載しています。IRTとは、テスト問題の難しさや生 徒がどのような問題に正解したかといった情報をもとに子どもたちの学力を見取る方法です。

姓田の郷田 レ会然へ合い

【結果の概要】

○標準化得点で見ると、昨年度の結果と比べ、小学校の結果は、国語はO.7ポイント上昇、算数はO.7ポイント下降、中学校の結 果は、国語は0.9ポイント下降する結果となりました。

○本市では、門真市版授業づくりベーシック(学習指導要領に基づいた授業改善)を推進しています。その成果を「全国の平均 正答率7割以上の問題」において図っており、本市においても同じく正答率7割以上をめざすということを一つの目標として取り 組んでおります。その観点において今回の結果は以下の通りでした。

小学校6年

国語【全14問中】 全国(7問)門真市(4問) 算数【全16間中】 全国(7間)門真市(2間)

理科【全17間中】 全国(4間) 門真市(0間)

中学校3年 国語【全14間中】 全国(5間)門真市(4間) 数学【全15問中】 全国(2問)門真市(1問)

【今後に向けて】

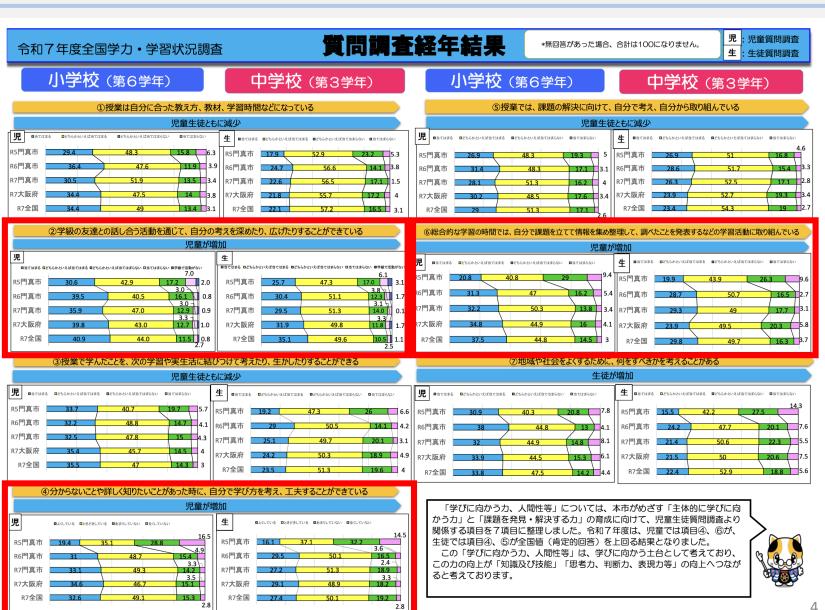
○門真市教育委員会では、門真市教育振興基本計画にある「門真の すべての子どもたちが、将来の自立をめざして、自分の生き方を見つ けること」を目標に、小中一貫教育を通して「誰一人取り残さない学 校」の実現に向けた取組を推進して参ります。

〇今年度も門真市教育委員会指導主事、伴走チーム等が定期的に学校 訪問を行うなど、授業づくりや校内研修デザインづくりをサポートし、 教育委員会と学校が一体となって、子ども主体の学び、探究的な学び における授業改善の取組を推進して参ります。

門真市教育振興 基本計画

引き続き、保護者の皆様のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

本市の学力状況 ~令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(見えない学力)~



7年度からの門真市教育委員会の取組体制

